

適切な水管理と適期の病害虫防除で高品質な米に仕上げましょう！

「富富富」の生育概況

- ・近年に比べ、草丈はやや長く、茎数はやや少なく、葉色はやや濃く、葉齢は2日程度早くなっています。
- ・幼穂形成期は、5月12日頃の田植えで7月9日頃と見込まれます。

表1 生育状況(7月4日現在)

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢	葉色
R5	62.9	568.9	11.6	4.4
近年値	59.9	598.4	11.4	4.2

※生育調査は平均値 5月12日田植え
近年値(H30~R4)

1 穂肥(分施栽培の場合)

幼穂形成期から7日後(幼穂長15mm程度)を目安に、穂肥を施用しましょう。

※肥効調節型基肥栽培の場合
原則、追加穂肥は施用しないでください。

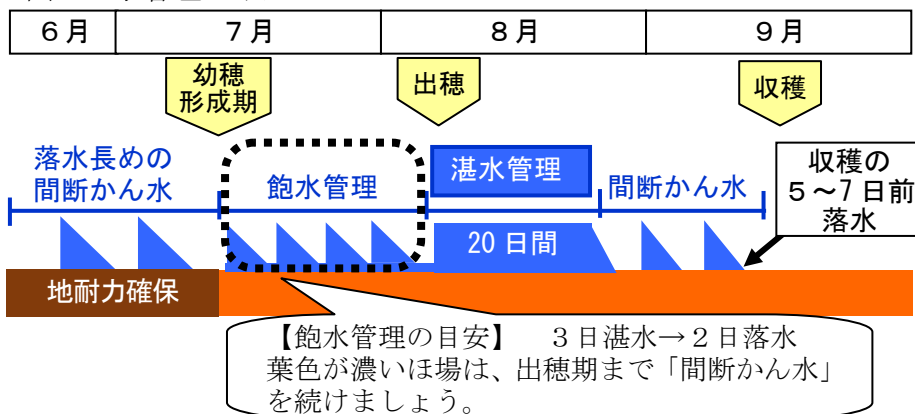
表2 分施栽培の穂肥時期と施用量の目安

	1回目	2回目
	幼穂形成期の7日後 (7/16頃)	1回目の7日後 (7/23頃)
追肥3号	5~7 kg/10a	10kg/10a

2 水管理

- 幼穂形成期以降は、根の活力を維持するため、飽水管理を行い、足跡に水が残る程度の湿潤状態を維持しましょう。
- 出穂後20日間は、湛水状態を保ちましょう。

図1 水管理のイメージ



3 病害虫防除

病害虫防除は、コシヒカリに準じて実施しましょう。

なお、生育期間を通して、化学合成農薬の成分使用回数(殺虫剤、殺菌剤、除草剤あわせて)が12以内となるか、必ず確認してください。

表3 防除体系

体系	防除時期	薬剤名	成分数	使用量 (10aあたり)	対象病害虫
粉剤	穂揃期	ラブサイドキラップ粉剤 DL	2	4 kg	いもち病, カメムシ類, ウンカ類
	傾穂期	スタークル粉剤 DL	1	3 kg	カメムシ類, ウンカ類
液剤	穂揃期	ラブサイドK2フロアブル	2	希釈倍数 1000倍 使用液量 100ℓ	いもち病, カメムシ類
	傾穂期	スタークルメイト液剤 10	1	希釈倍数 1000倍 使用液量 100ℓ	カメムシ類, ウンカ類
粒剤	出穂10日前 (穂ばらみ期)	フジワンラップ粒剤	2	4 kg	いもち病, カメムシ類, ウンカ類

4 漏生稲や異茎株の抜き取り

定期的には場を見回り、異茎株(形態や生育時期等が違う株、右図参照)等を抜き取ってください。

